

おっぱいだより

8号

蒸し暑い日々が続いています。寝苦しくて熟睡できなかつたり、クーラーをつけて眠って体がだるかつたり、体調をくずしやすい時期でもあります。体調管理には気をつけて夏をすごしましょう。

先月は母乳育児推進チームが発足しました。また、退院後のお母さん、赤ちゃんを対象としたサークル活動も開始されました。今月号ではその様子をお伝えしたいと思います。



母乳育児推進チームって何をするの？

母乳育児を推進するための企画・運営、出産される方・その方の家族に母乳育児を推進、病院から地域へ母乳育児の情報発信を目的に活動していきたいと思えます。

6月29日 薬剤師の今井理央子さんから「授乳と薬」というテーマでお話しをしていただきました。参加者はNICU医師、産科医師、NICU・産科スタッフ、内科医師、栄養課、薬剤部の総勢45名でした。授乳している人が薬を使用する際に、薬の添付文書を見ると「授乳中の婦人には投与をさけること、やむを得ず投与する場合は授乳を中止させること」と記載されているものを多く見ます。しかし、より安全な薬に変更したり、飲み方を工夫することで、治療を続けながら母乳を飲ませていくこともできます。その相談役に心強い味方ができました。薬剤部では、薬剤師3名で妊婦・授乳婦に対する薬剤チームを作り活動を始めており、妊産婦・褥婦に投与する際に不明な点があれば、薬品情報室で調べてお答えできるそうです。



サークル活動はじめました！！

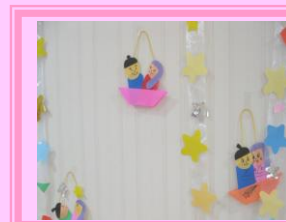
今回は、まだおっぱいを吸っている6ヶ月から1歳半くらいの赤ちゃんとお母さん達が集まりました。皆で七夕の飾りを作ったり、体重測定をしたり、みんなでおっぱいの事・育児の事・困っている事などなどたくさんおしゃべりしました。



退院後のお母さん達が集まる場は少ないので、皆さんが情報を共有できる機会を提供していきたいと思えます。



おぎゃ〜



母乳育児成功のための10ヵ条 第7条
母親と赤ちゃんが一緒にいられるように終日母子同室を実施しましょう